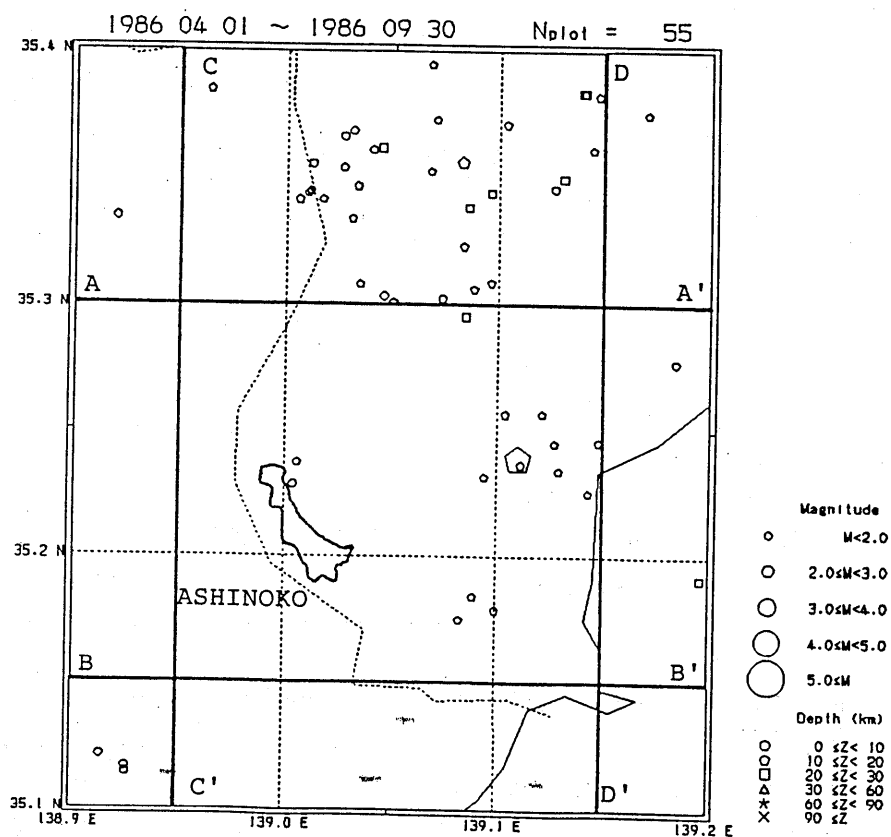


# 箱根火山の地震活動\*

(1986年4月～9月)

国立防災科学技術センター

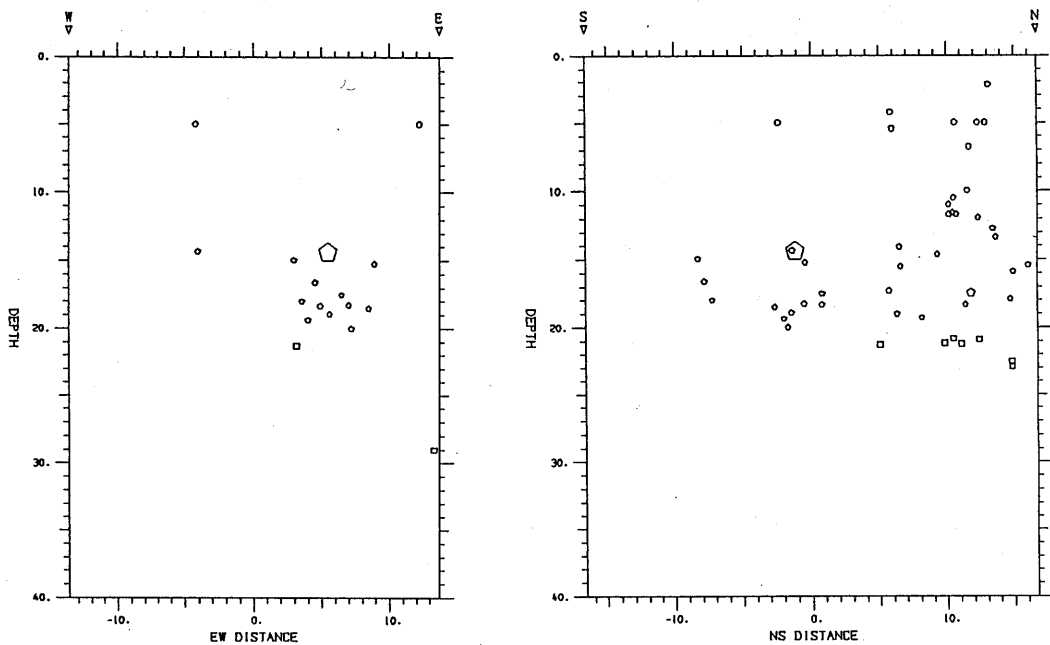
箱根火山とその周辺に発生した浅い地震(深さ0～40km)の震央分布を第1図に示す。中央部の長方形で囲んだ領域は、箱根火山と密接に関連した地震が起こっていると考えられる区域である。第2図に、震源分布の東西断面図(左)及び南北断面図(右)を示す。それぞれ、第1図の”AA'B'B領域、CC'D'D領域内の地震のみがプロットされている。



第1図 箱根火山とその周辺の震央分布(1986年4月～9月、深さ0～40 km)

Fig. 1 Epicenter distribution of shallow earthquakes (depth: 0～40 km) in and around the Hakone volcano area for the period from April to September, 1986.

\*Received Feb. 3, 1987.

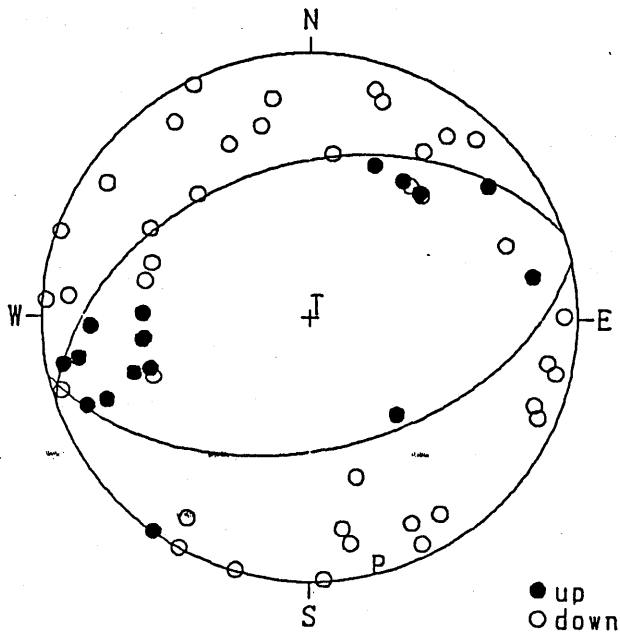


第2図 震源分布の東西(左)及び南北(右)断面図(表示範囲は本文参照)

Fig. 2 Vertical sections of hypocenter distribution on the east-west(left)and north-south(right)striking planes. See the text for the area covered by the figures.

前報<sup>1)</sup>の期間と較べると、芦ノ湖付近、強羅付近には目立った地震活動は見られず、カルデラ内の地震活動は総じて静穏であった。他方、箱根付近には、7月9日にM=4.1(気象庁)の地震が発生した。当センターの定常観測によれば、震源位置等は7月9日01時17分 35.24° N 139.11° E H=14kmである。箱根火山周辺では、1980年以来最大の地震であった。発震機構は、第3図に示すように、北北西-南南東圧縮の逆断層型である。

(大竹政和)



第3図 7月9日の地震の発震機構（下半球等積投影）

Fig. 3 Focal mechanism of the July 9 earthquake of  $M=4.1$   
(equal area projection on the lower hemisphere).

### 参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター（1986）：箱根火山の地震活動（1980年1月～1986年3月）、噴火予知連会報、37、33-36.